

○評価基準表

ア テーマ提案方式

評価項目	評価の着眼点
企画の内容 内容	<p>環境課題の解決につながる研究（次のいずれか一つ以上を満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ把握ができています ・ 期限内に成果が期待できる ・ 本市の環境改善に役立つものである ・ 市内の産業振興に役立つものである ・ 国際貢献に役立つものである
実現性	<p>研究計画が具体的で、かつ実現の可能性がある（次の全てを満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究を実施する上で必要な知識や経験を持っている ・ 研究に携わる人員等、必要な実施体制を確保している ・ 実施方法、スケジュールが具体的に示されており、実施が可能である
新規性・ 独自性	<p>先進的・革新的な研究（次のいずれか一つ以上を満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 類似の技術や研究がない ・ 既存の技術や研究ではあるが、独自性があり、社会実装につながるものとして期待できる ・ “川崎モデル”としての発信が可能である
社会実装 の可能性	<p>研究期間及び終了後の展開について考えられているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品化、事業化、地域展開など社会実装に向けた活用策が期待できる
妥当性	<p>見積額の積算が適正（次の全てを満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不明瞭な経費が計上されていない ・ 過大又は過小な経費の見積がされていない
<p>評価項目ごとに5点満点とし、絶対評価による客観的採点を行う。 ◆ 評価点〔優秀:5点、良好:4点、普通:3点、やや劣る:2点、劣る:1点〕 ◆ 基準点:満点の半分</p>	

イ 特定テーマ方式

評価項目	評価の着眼点
企画の内容	<p>市が提示した研究テーマの解決につながる企画であり、具体的かつ実現性がある（次の全てを満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が提示した研究テーマ及び条件に適した企画である ・研究計画の着実な実施に加え、取組結果に応じた適切かつ柔軟な計画変更等に対応できるための必要な知識や経験を持っている ・研究に携わる人員等、必要な実施体制を確保している ・実施方法、スケジュールが具体的に示されており、実施が可能である
実証技術の内容	<p>市が提示した研究テーマに合致した環境技術である（次の全てを満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる環境技術を有する共同研究者が複数参画している ・実証技術の作用機序が明確になっている ・実証技術の有効な活用手法が見出せる見込みがある ・本市における技術的知見の蓄積が期待できる
研究への積極性	<p>研究に対して意欲的に取り組む姿勢がある（次のいずれか1つ以上を満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者等で構成する評価委員会等を設置するなど、専門的知見や助言が得られる体制を確保している ・市民等への効果的な広報手段を考えている
妥当性	<p>見積額の積算が適正（次の全てを満たしている）か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明瞭な経費が計上されていない ・過大又は過小な経費の見積がされていない
<p>評価項目ごとに評価点と係数を乗じた点数を満点とし、絶対評価による客観的採点を行う。 ◆評価点〔優秀:5点、良好:4点、普通:3点、やや劣る:2点、劣る:1点〕 ◆係数:企画の内容・実証技術の内容は2、それ以外は1 ◆基準点:満点の半分</p>	